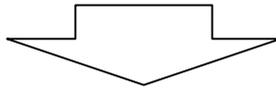


都心内100円バス(札幌市)実証実験の概要(平成13年9月～12月)

背景

札幌市では、モータリゼーションの進展により交通量が増加し、特に都心部においては商業・業務機能の集積などにより、交通渋滞も発生し、都市環境の悪化が懸念されている。

このため、魅力的で活力ある都心の実現を目指して、過度な自動車利用を抑制し歩行者や公共交通機関を優先した都心空間利用を図る必要がある。

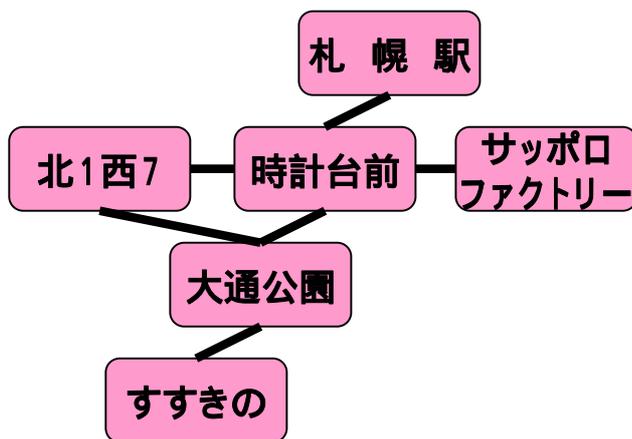


実験の概要

JR札幌駅前を発着する既存バス路線の一部都心内区間につき、通常の半額の運賃(大人100円、こども50円)で運行し、渋滞の改善、利便性と都心内の回遊性の向上について検証を行った。

・運行主体 北海道中央バス(株)、(株)じょうてつ、JR北海道バス(株)

100円バス実験対象区間



100円バス

(注) 既存バス路線のうち□の間を乗降する場合の運賃を100円(大人)とした。

関係行政機関等によるTDM実験への支援(北海道運輸局、北海道開発局、北海道警察本部)

・当該バス路線エリアにおける違法駐車防止の助言・啓発活動

・ホームページによるバス情報の提供



実験の成果

100円バスについては全路線平均で**利用者が実験前の2.3倍に**。
違法駐車防止活動実施時には、**バスの走行速度が6.6%向上**。



実験終了後、札幌市は独自の実験を6ヶ月間継続し、**平成14年7月1日から本格運行**。